

事故報告書

フルーツ・シャトーよいち

施設長	施設長補佐	援助課長	医務課長	相談員	係長	担当

フガナ	●●●●		男 <input type="radio"/> 女 <input checked="" type="radio"/>	要介護 2	移動	<input type="checkbox"/> 独歩 <input type="checkbox"/> 歩行器 <input checked="" type="checkbox"/> 杖歩行 <input type="checkbox"/> 車椅子 <input type="checkbox"/> その他 ()				
本人氏名	●●●● 様		87 歳							
報告者	●●●●			発生(発見)日時	平成25年09月17日(火) 10:30 分頃					
場所	<input type="checkbox"/> 居室 <input type="checkbox"/> ホール <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> 拠点フロア <input type="checkbox"/> 廊下 <input type="checkbox"/> 階段 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> 送迎車内 <input type="checkbox"/> その他 ()									
状況	<input checked="" type="checkbox"/> 転倒 <input type="checkbox"/> 転落 <input type="checkbox"/> 誤食 <input type="checkbox"/> 誤嚥 <input type="checkbox"/> 誤薬 <input type="checkbox"/> トラブル <input type="checkbox"/> 単独外出 <input type="checkbox"/> 介護中 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他 () 9月11日17時15分頃、●●町の居間で転倒する。転倒時は特に痛みや腫れ、変色など無く経過されていたが9月11日の夜から腰痛の訴えがある。痛みは継続していたが、歩行が出来る状況であることから経過観察にて対応した。17日に整形外科の定期受診の予約をしていた為状態に変化が見られたら早期の受診対応をすることとした。その後も痛みは続いており、本人の希望で痛み止めを服用していた。安静臥床にて過ごすよう看護職員や介護職員から伝えたがトイレなど介助が必要な場面もあったが普段とほぼ変わらない生活をされていた。 【施設内連絡】 13:00 看護師より受診の結果入院となったことを施設長へ報告する。									
症状	<input type="checkbox"/> 無傷 <input type="checkbox"/> 表皮剥離 <input type="checkbox"/> 擦過 <input type="checkbox"/> 切傷 <input type="checkbox"/> 内出血 <input type="checkbox"/> 火傷 <input type="checkbox"/> 腫れ <input type="checkbox"/> 変色 <input type="checkbox"/> 熱感 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (痛み)					部位	腰部			
対応	<input checked="" type="checkbox"/> 様子観察 <input checked="" type="checkbox"/> 湿布 <input type="checkbox"/> 冷却 <input type="checkbox"/> 吐かせる <input type="checkbox"/> 吸引 <input type="checkbox"/> 止血 <input checked="" type="checkbox"/> 受診 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (痛み止め) 湿布を貼り、痛み止めを服用し経過観察。 9月17日10時頃、●●●●病院整形外科受診する。腰部と胸部のレントゲン撮影、心電図、血液検査を実施。医師の診断の結果、腰椎圧迫骨折の疑いで入院となる。									
バイタルサイン	体温	℃	血圧	/	mmHg	脈拍	回/分	SP02	%	計測時間
要因・原因	<input type="checkbox"/> 見守り不足 <input type="checkbox"/> 知識・技術不足 <input type="checkbox"/> ルール不遵守 <input type="checkbox"/> 情報不足 <input type="checkbox"/> 環境・設備 <input type="checkbox"/> 設備・点検不足 <input type="checkbox"/> 人為的問題 <input checked="" type="checkbox"/> その他 () 椅子から立ち上がって居室に戻られる際に方向転換する際バランスを崩され転倒した。職員間では方向転換時に重心が後ろになり、ふらつきやすいことがあり常時杖使用を促していた。杖を上手く使えていない様子があるということについても後から分かり、情報共有はしていたが見守りなどの具体的な対応は行っていなかった。									
事故防止対策	居室の外を歩く時には、付き添いの対応をする。特に方向転換時はバランスを崩しやすいので、職員がすぐ支えられるような体勢をとる。 現在4点杖を使用しているが、●●●●さんに適したものかを検討する。 居室内については、自立されていることもあり付き添うことは困難な為、杖の使用を継続して促していく。									
家族への説明	平成25年09月17日(火)		説明方法		<input type="checkbox"/> 面会 <input checked="" type="checkbox"/> 電話		説明職員		●●●● 援助員	
	家族氏名		●●●● 氏		続柄		姪			
腰の痛み続いており、整形外科定期受診の際に診てもらった経過を説明する。結果、腰椎圧迫骨折の疑いで入院となったことを連絡した。										